

1. 実施日 11月2日(日) 9:00~10:30

注:通信時間は実施形態により違いがあります。詳細は以下による。

2. 実施形態 (アマチュア無線非常通信訓練イメージ図参照)

1) 例年にならい、県総合防災訓練と連携し行います。

県総合防災訓練(平成26年度三重県・志摩市総合防災訓練)は別途参照
該当URL <http://www.bosaimie.jp/tb000.action>

2) 県総合防災訓練会場(志摩総合スポーツ公園)に『志摩訓練会場集約局』を置き、志摩市・南伊勢町・大紀町を中心に、地元アマチュア無線防災組織と連携して被害情報、救援情報などの通信訓練を行う。

- ・具体的には、日赤無線奉仕団・災害救援ひのきしん隊・志摩アマチュア無線防災支援ネットワーク・南伊勢アマチュア無線防災ボランティアネットワーク・JARL三重県支部現地スタッフが行う。
- ・通信電文、運用周波数帯等は、別途担当者(組織)で定めます。

3) 県庁本庁舎(津市)に『最終集約局』を置き、県内アマチュア無線局(地域クラブまとめ局および個人局)からの通信訓練と『志摩訓練会場局』・『朝熊山支援局』からの情報伝達訓練を行う。

※ 地域クラブまとめ局とは、県内各地のクラブで本件の訓練をまとめる局を示します。

4) 朝熊山山頂に、県庁本庁舎『最終集約局』のサポートする『朝熊山支援局』を置き、県庁本庁舎最終集約局が直接通信が出来ない地域との通信を行う。

3. 通信電文

1) 個人局と『最終集約局』『朝熊山支援局』間の通信 および 個人局とクラブまとめ局間の通信電文は、下記①~⑤の内容とします。

- ① コールサイン ② 名前 ③ QTH (市町名またはJCC/JCG)
- ④ 運用形態 / 固定(常置場所)または移動の区別 ⑤ 送信電力

2) 『クラブまとめ局』『朝熊山支援局』『志摩訓練会場集約局』は、個人局との訓練通信集計結果として、QTH(市町)別の局数を通信電文として『最終集約局』に送る。

3) 『志摩訓練会場集約局』が志摩市・南伊勢町・大紀町の地元アマチュア防災組織との通信電文は別途担当者(組織)で定めます。

4. 実施時間帯と周波数

1) 県庁舎『最終集約局』

9:30~10:30 7.0775MHz付近 SSB
9:00~10:00 VHF / 145.32MHz FM / UHF 432.22MHz FM

2) 『朝熊山支援局』 (HF帯はありません)

10:00~10:30 VHF / 145.32MHz FM / UHF 432.22MHz FM

3) ロケーションの都合等で、県庁『最終集約局』と直接交信出来ない場合は、朝熊山レピーター 439.04MHzを使用するか、もしくは 10:00~10:30に『朝熊山支援局』と通信してください。

4) 個人局と所属クラブまとめ局間は、集約局・支援局と違う周波数で訓練を実施してください。

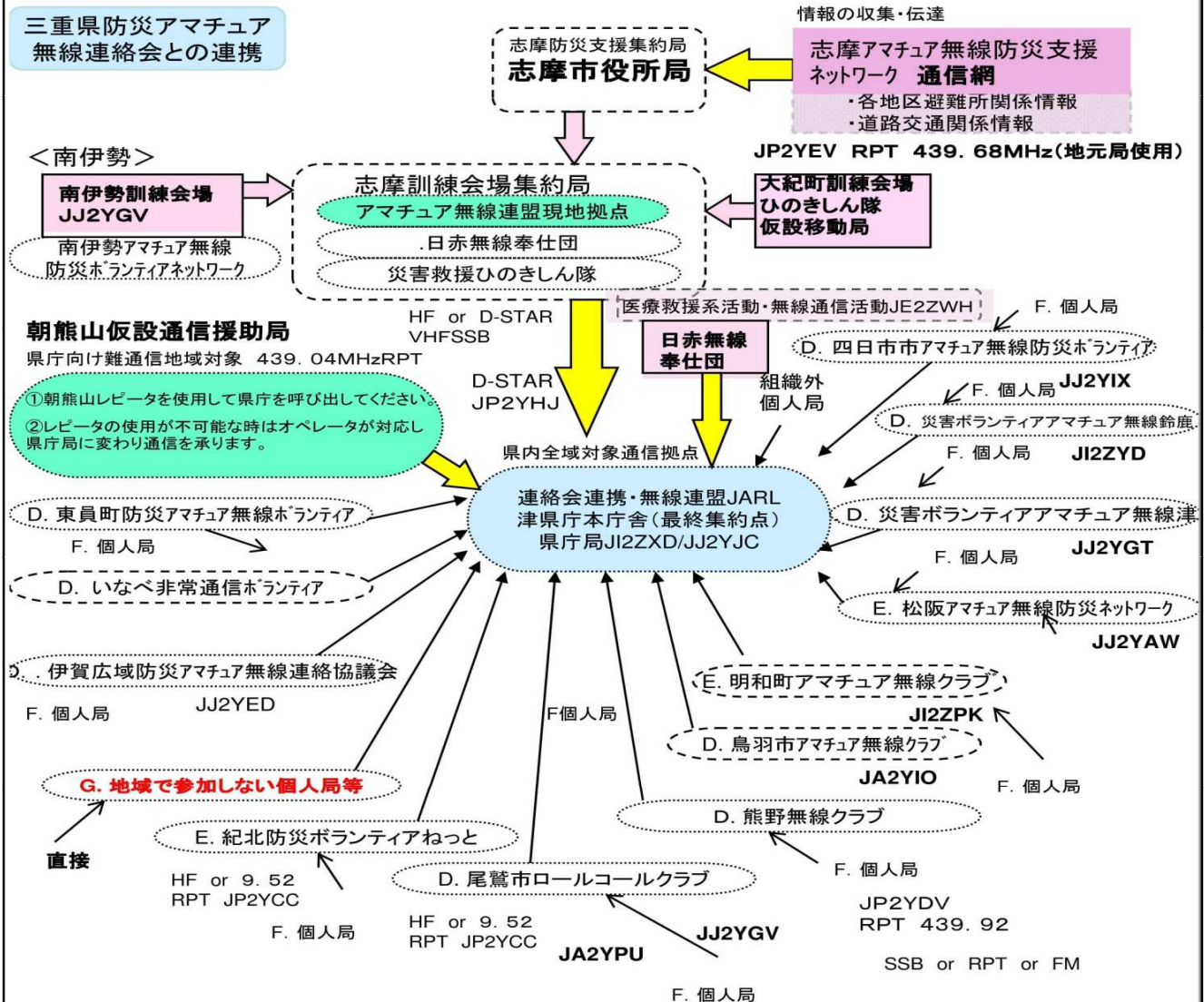
尚、V・UHF帯は該当周波数が他局が使っている等で使用出来ない場合は、メイン周波数で使用周波数を誘導アナウンスします。

まとめると、個人アマチュア局は、

1. 基本的に、県庁舎の『最終集約局』と通信訓練を行ってください。
但し、ご自分が所属するクラブ局でまとめる(集約する)場合は、所属するクラブで独自の手段で通信電文①～⑤の内容で行ってください。
2. ロケーションなどの理由で『最終集約局』と直接通信出来ない場合は、朝熊山レピーター(439.04MHz)を使うか、もしくは『朝熊山支援局』と通信訓練を行ってください。
(ご注意:最終集約局/県庁舎 と朝熊山支援局では運用時刻に違います)
3. 志摩市・南伊勢町・大紀町地域の個人局の中で、『志摩訓練会場局』と連携して通信訓練を行う地元アマチュア無線防災組織に属さない局は、県内個人局と同様に『最終集約局』と通信訓練を行ってください。

2014年度 アマチュア無線非常通信訓練イメージ図

<音声系>



* 市町の防災ボランティア名は「三重防災アマチュア無線連絡会」の参加名称を記入しています。

* 今年、県庁への新たな連絡手段のルートとしてD-STAR局 JP2YHJ(津市) 439.17MHz が設備されました。(無停電)